

今週のモーニングセミナー報告

令和4年12月21日（水）の講話 <第922回>

テーマ：「今を活かす」

講師：（一社）倫理研究所 研究員 松枝秀雄 様

（熊田輝司 幹事・会員スピーチ）81歳になる母とのつながりを反省する。高校二年生の三男は、「これから、晩御飯は自分でするから」と言って、自炊するようになった。それを見かねた母は毎日のように4時ごろになるとくともき>に買ってやってきてくれ〜という。なぜそんな風に言うのか母との会話を話された。「小さい時、お前たち夫婦はくともき>を置いて外出に行ってた、そのあとは私が抱いて育てた。母のお陰でここまで来た、今のくともき>がいる。感謝しています。家族の会話が目に浮かぶような体験報告でした。

（松枝 秀雄 研究員）松浦会長の小学6年生の次女、コロナ下での修学旅行。反抗期、いいですね〜 独り立ちしますよ。熊田幹事のお母さんの話、丸山敏雄創始者も、同じことを聞いても、初めて聞くようにもう一度伝えていた。母の育て方ですね。第一条「今を生かす」今日は最良の一日無二の好機、自分にとって伸びる日なのです。ある家族経営の衣料品店経営者からの相談「経営が苦しいので借り入れしたいのだが・」「喜んで借りてください」と答えた。何か困ったことがある時、どうすればいいか。動議が乱れた、宗教が乱れた、ご利益があるのか信じられなく、判らなくなった時、目の前の一步、明るく正しく喜んでいると、そう言う時、明るいところに人が集まる。気持ちを常に明るく、喜びとしてとらえてにこにこしているといいんです。実践は気づくとすぐやる。思い付きと気付きの違いの説明。感覚（表的）・感情（内側）内側で何が起きている？一生懸命思考するから気づきがある。2008年廃業した船場吉兆のその後の例話。どん底の所から店の名前を変えて再興するまでの不思議な出会いの連続。気づきはすぐ実践、MSに通うこと。「いいことないですか〜」という<タナボタ>は<ドクダング>判りやすく例話を丁寧に解説していただいた。

担当者：赤山 芳隆

昨夜の経営者の集いでは家庭と事業のテーマで講話をしていただきました。縦は親子、横が夫婦の関係について話され夫の倫理、妻の倫理について話されました。学んだことをパートナーの妻の倫理について冷蔵庫に張り付けたりすると大変なことになるとユーモアまじえて講話をしていただきました。また私は親にとっての子供、親の倫理についての部分が印象に残りました。反抗期を迎えている子供がいるからです。親から独立しようという気持ちなんだと話されました。モーニングセミナーでは「今をいかす」として講話され今日は最良の一日。明るく楽しく喜んでいると人は集まってくると話されました。うまくいかない時こそ、明るくですと話されたのが印象に残りました。ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは1月11日（水）朝6：00～7：00 南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「新年式」を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 16社 16名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp